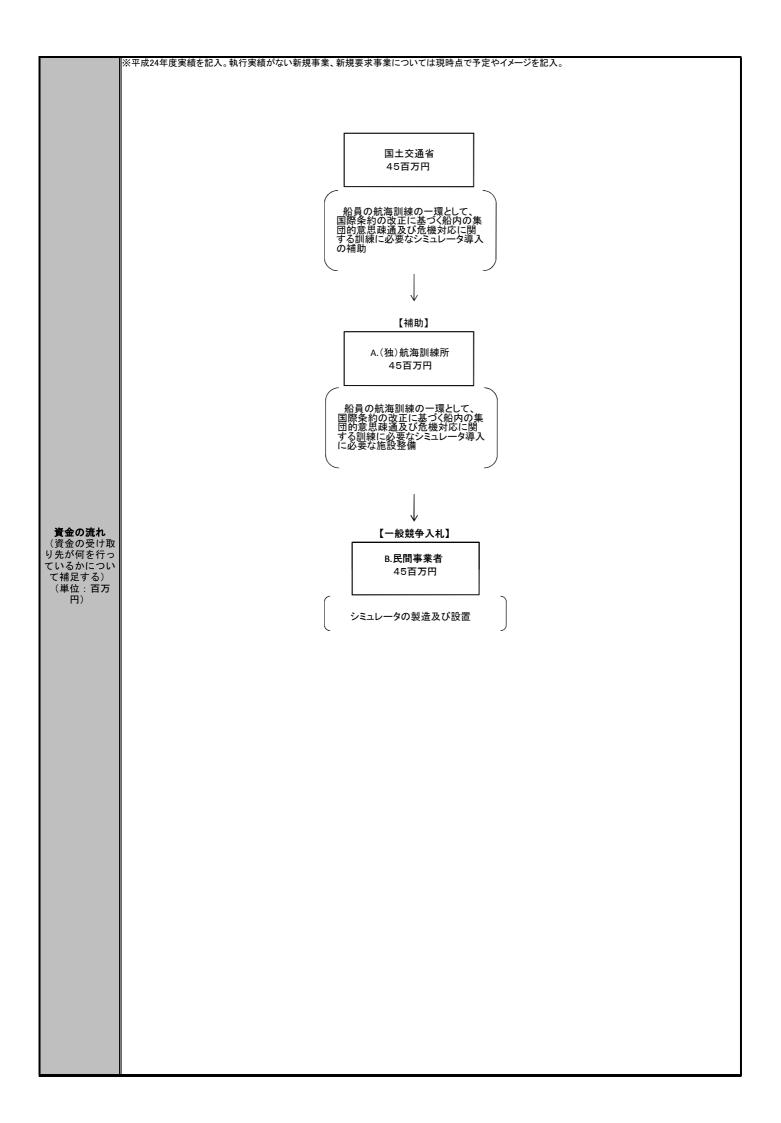
						平成25	年行] 政事	業レ	ごュー	シート		上国)	·交i	通省)	
4	事業名		(独)	航海訓練所	施設整	備費補助金		担当部	局庁		——— 海	事局			作成責任者	
	業開始・ (予定)年度			H26/	H27			担当	課室			公員教育室			屋長 大立康神	
	計区分			一般:	会計			政策・	施策名	36		の市場環境勢			費者利益の保 バ人材の	護
(重	拠法令 具体的な 頁も記載)			立行政法人				関係する 通知					_			
(目扌	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)					る学生等に対し 要な乗船履歴を(:づく訓練
(5行	業概要 程度以内。 添可)		条約(STO 一タの整備		他の訓練	東及び資格証明	並び	に当直の割	基準に関	関する国際	祭条約)の記	改正によって	強制化され	る訓練	に対応するた	めのシ
実	施方法	口直接	接実施	□委託・	請負	■補助		□負担]交付	口貸付	t □1	その他			
						22年度		23年度		24	年度	25年	F度 ———		26年度要求	
				刃予算											45	
予	算額・	予算の状		E予算												
4	执行額 立:百万円)	況		返し等											45	
(+1	ж. Д / Д / Д /			計										45		
			執行													
			執行率((%)				$\overline{}$								
				成果	指標					22	年度	23年度	24年	度	目標信	
	目標及び成 果実績 ウトカム)					であり、成果目標 ミ施するという性		成果実績								
		もので	はない。					達成度	%							
				活動	指標				単位	22:	年度	23年度	24年	度	25年度活動	力見込
1	指標及び活 助実績 ウトプット)	び活動	に必要な カ実績(ア')ではない	ウトプット)を5	D整備 [*] 定めて	であり、活動指榜 実施するという性	票及 生質	活動実績 (当初見込 み)			()()	()
	位当たり コスト			(1	m /)		算出根拠								
	費	目		25年度当初	予算	26年度要求						主な増減理	由			
平成	施設	:整備費	ŧ	_		45	- :	操船シミュ	レータの	の整備						
2 5																
2																
6 年																
年度予							=									
算内							\dashv									
訳		計		_		45	\dashv									

				事業所管部局に	はる点検	
			項目		評価	評価に関する説明
心毒				事業目的が達成できないのか。	. 0	・国際条約(STCW条約:船員の訓練及び資格証明並びに当直の 基準に関する国際条約)の改正によって強制化される訓練に対
要投			ねることができない事業な		0	本学に関する国際系列の収集によって短期に合わる副係に対 にするためのシミュレータの整備に係る事業であり、広く国民に 神益するものである。
色の	なっている	か。		付けられ、優先度の高い事業と	0	・独法の施設整備に係る補助であり、国が補助すべき。
	競争性が	確保されている	など支出先の選定は妥当	か。	_	
事	受益者との	の負担関係は妥	当であるか。		0	
業の	単位当たり	/コストの水準に	は妥当か。		0	・広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。 -・資金は、製造・施工業者に支出される予定である。
効率	資金の流	れの中間段階で	での支出は合理的なものと	なっているか。	_	・費目・使途は施設整備に必要なものに限定されている。
性	費目·使途	診が事業目的に	即し真に必要なものに限定	ごされているか。	0	
	不用率が	大きい場合、そ	の理由は妥当か。(理由を	右に記載)	-	
事業		に当たって他の 低コストで実施で		場合、それと比較してより効果	·的 O	
の有			さったものであるか。		_	・独法の施設整備を支援するものであり、補助金以外の手段はない。
効 性	整備された	た施設や成果物	は十分に活用されているが	<i>ڼ</i> ۰,	_	
<u> </u>				:役割分担を行っているか。		
重複	(役割分担事業番号		容を各事業の右に記載) 類似事業名	所管府省•部局名	<u> </u>	
排	子 木田 '	'	スペテネロ	77 8 79 8 10 70 70	4	
除						
検結果		_		外部有識者の	所見	
				- 行政事業レビュー推進	チームの所	听見
	į					
	-	効果的な予算報	外行の観点から、製造・設 ⅰ	置等の実施状況等の管理・監	腎を適切に	行うべきである。
	i		所見	見を踏まえた改善点/概算要	求におけ	る反映状況
	-				-	
				_		
				-		
		P /		関連する過去のレビューシ	ノートの事	
	平	成22年	-	平成23年	-	平成24年 -



		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.	L		F.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
			(173117			(11/3/1/
費目•使涂						
(「資金の流れ」においてブロックご						
とに最大の金額が支出されている						
者について記載する。費目と使途						
費目・使途 (「資金でブロックで おいてブロックで とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)						
載)	計		0	計		0
		C.			G.	
	費 目	使 途	金額	費 目	使 途	金額
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
		使 途			使 途	
	費目		金額(百万円)	費目		金額 (百万円)
		D.	0		H.	0
	ā 			計		
	ā 	D.	0	計	H.	0
	ā 	D.	0	計	H.	0
	ā 	D.	0	計	H.	0
	ā 	D.	0	計	H.	0
	ā 	D.	0	計	H.	0
	ā 	D.	0	計	H.	0
	ā 	D.	0	計	H.	0

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 支出先
 業務概要

 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1
 2

 3
 4

 5
 6

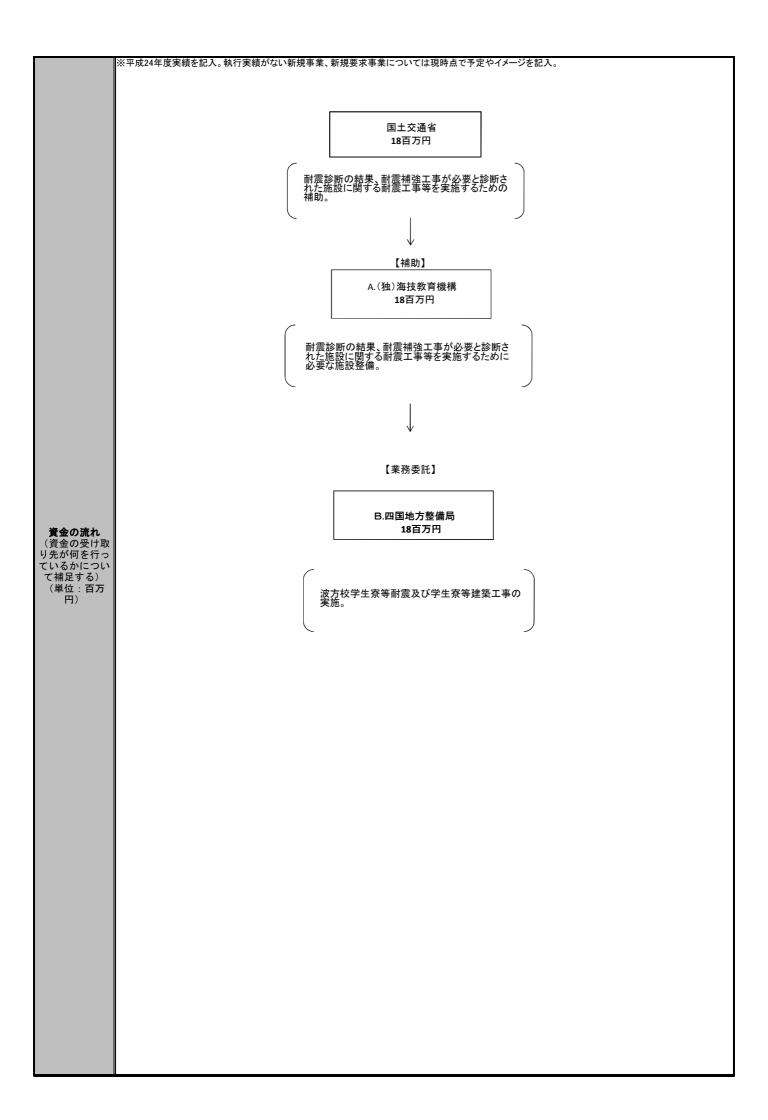
 7
 7

 8
 9

 10
 10

						平成25	年	 	集レ	ビ:	_L ーシー		7 		上交通	1省)		
;	事業名		(独)	海技教育機構	施設	整備費補助金		担当部	『局庁			海事月	局			作成責任	£者	
	業開始・ (予定) 年度			H26/	H27			担当	課室		海技訓	课船員	教育室		室	長 大3	 江康祐	
£	計区分			— 般:	会計			政策・	施策名	9	市場環境の 36 海事産 確保等	業の市	「場環境整				Eの保護	
(-	拠法令 具体的な 項も記載)			。 立行政法人 立行政法人海				関係する通知		•				_				
(自	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)					なろうとする者を 設・設備の整備を			3船舶 (の運	航に関する学	術及で	が技能を教	授すること	:及びこ	れらにM	∤帯する業務	
(5行	「業概要 程度以内。	波方 等に 実施す 2. 学	亀裂の損場 する。 生寮の建	短期大学校の 懐を受け、応急 築工事	的に	寮は昭和48年9 修繕工事を実施 4名の160名であ	してか	∿ら10年以_	上が経	·過し [·]	ており、耐震語	多断の	結果、耐窟	養補強工事	が必要	を判断る	されたため、	
美	施方法	口直拍	接実施	□委託・	請負	■補助		□負担]交付		付	□そ <i>0</i>)他				
			114	加叉笛		22年度		23年度			24年度		25年	度		26年度		
		予算		初予算 正予算											18			
	算額 • 執行額	の状況		越し等														
	位:百万円)	計						_		_				18	3			
			執行額							_								
			執行率	(%)						_								
				成果	指標				単位	Ī	22年度	2	!3年度	24年	度 目標値 (年度)			
:	目標及び成 果実績 ウトカム)	(アウ				具目標及び成果 う性質のもので		成果実績										
		い。						達成度	%									
				活動	指標				単位	Ē	22年度	2	:3年度	24年	度	25年月	度活動見込	
1	指標及び活 動実績 ウトプット)					動指標及び活動? いう性質のもので		活動実績 (当初見込 み)				()	()	(
単	位当たり コスト			(1	円/)		算出根拠										
287	費	目		25年度当初	予算	26年度要求						主な	:増減理由					
平成25・26年度予算内訳	施設整	請費補	助金			18	- ;	坡方校学生	寮等而	耐震及	び学生寮等	 建築コ	事					

				事業所管部局によ	る点検	
			項目		評価	評価に関する説明
国必費	広く国民の)ニーズがある;	か。国費を投入しなければ	事業目的が達成できないのか。	0	・船員(船員であった者及び船員になろうとする者を含む。)に対する船舶の運航に関する学術及び技能を教授すること及びこれらに附帯する業務等を効率的に行うために必要な整備を
要投 性入 の	フュルエ・ひゅくと		ねることができない事業な標)の達成手段として位置・	のか。 付けられ、優先度の高い事業と	0	行う事業であり、広く国民に裨益するものである。また、老朽化 した施設の耐震工事を行うものであり、優先度が高い。
0)	なっている		 など支出先の選定は妥当』	<u>ه</u> ۲	_	・独法の施設整備に係る補助であり、国が補助すべき。
_)負担関係は妥		- •	0	-
事業の		リコストの水準に			0	_ - ・広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。
の効率	資金の流	れの中間段階で	での支出は合理的なものと	なっているか。	_	・資金は、施工業者に支出される予定である。 ・費目・使途は施設整備に必要なものに限定されている。
性	費目∙使途	が事業目的に	即し真に必要なものに限定	: されているか。	0	
	不用率がた	大きい場合、そ	の理由は妥当か。(理由を	右に記載)	_	
事業		こ当たって他の 氐コストで実施で		場合、それと比較してより効果的	^约 O	
の有			合ったものであるか。		_	・独法の施設整備を支援するものであり、補助金以外の手段はない。
効性	整備された	-施設や成果物	は十分に活用されているだ)\ ₀	_	
#			他部局・他府省等と適切な 容を各事業の右に記載)	役割分担を行っているか。		
重複:	事業番号		類似事業名	所管府省·部局名	i	
排除						
点検結果						
				外部有識者の所	f見	
				-		
				2	107	
	-			行政事業レビュー推進チ	ームの所!	
	- 3	効果的な予算	执行の観点から、工事の実	施状況等の管理・監督を適切に	こ行うべきで	ಕಾರಿತಿ
	<u> </u>			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	状における	反映状況
	_				_	
				備考		
				加		
				-		
				関連する過去のレビューシ		
\mathcal{L}	平	成22年	-	平成23年	-	平成24年 -



		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		B.			F.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
						.,=
費目·使途						
(「資金の流れ」に おいてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載する。費目と使途						
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)						
載)	計		0	計		0
		C.	·		G.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0
		D.			H.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計		0	計		0

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10			·		

B.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

						平成25:	5年行政事業レビューシート (国土交通省))				
į	事業名	1	新たなエネ.	ルギー輸送ルー	- トの油	上輸送体制の確立		担当部	局庁			海	事局		作	成責任	£者	
	業開始・ (予定)年度			H26/	′H27			担当	課室		船	舶	境政策課 産業課		課長		新一郎	
	計区分			一般	会計			政策・	施策名)市場環境の 36 海事産業 確保等を	のす	「場環境整備				の保護	
(-	拠法令 具体的な 項も記載)			_	-		1	関係する 通知		,	E	日本	再興戦略、	海洋基本	*計画	等		
(目:	業の目的 指す姿を簡 3行程度以 内)		本大震災以 大を図る。	以来の環境・エ	ネルギ	- 一制約を克服し、ク	リーン	で経済的	なエネノ	ルギ	一の安定供給を	图	る。また、我が	国造船業・	経済の	発展、	雇用の確	Juni I
(5行	4業概要 程度以内。]添可)					に対応し、新たな1 船等の世界市場の									輸送体	制を確	立し、今	
実	施方法	■直持	妾実施	■委託・	請負	□補助]負担	: 	交付	寸 口貸付	付	□その	他				
		マ竺		切予算 E予算		22年度		23年度			24年度	_	25年	度	2	26年度 74		
	算額・	予算の状		返し等								_						_
	執行額 位:百万円)	況		計								_				74	0	_
			<u> </u> 執行									_						-
			執行率	(%)								_						ᅱ
ch m	目標及び成			成果	指標				単位		22年度		23年度	24年	度	(目標値 年度)	
:	果実績 ウトカム)	とした	事業であり		及び成	る体制の確立を目 実実績(アウトカム) ではない。	4)	成果実績										_
							_	達成度	%							_		
活動:	指標及び活			活動 ————	指標				単位		22年度		23年度	24年	-	25年)	度活動見:	込
1	動実績 ウトプット)	とした	事業であり		及び活	る体制の確立を目 動実績(アウトプッ)ではない。	1111	活動実績 (当初見込 み)				()	()	(_)
単	位当たり コスト			(円/)	4	算出根拠						1		I		
V.		目		25年度当初	予算	26年度要求							增減理由	// S// 1:				
平 成 2		謝金	,	-		1				Γ	新しい日本のた	こめ	の慢先課題推	匪進枠」74	10			
5		員旅費 等旅				6												
2	海事産業市場					732												
年度予算																		
内訳																		
		計		-		740												

				事業所管部局に	1		
	+ /		項目	**************************************	評価	評価に関す	る説明
心書				事業目的が達成できないの		│ ──クリーンかつ経済的なエネルギ	一需給の実現にも寄与す
要投 性入			ねることができない事業な		8 L	るとともに、船舶の安全・環境に から国の関与が不可欠。	関する基準を定めること
0	好権な政なっている		標)の達成于校として位直	付けられ、優先度の高い事	* 0		
	競争性が	確保されている	など支出先の選定は妥当	か。	_		
事	受益者と	の負担関係は妥	き当であるか。		_		
業の	単位当た	りコストの水準に	は妥当か。		_	費目・使途を事業目的の達成の	ために真に必要なものに
効率	資金の流	れの中間段階で	での支出は合理的なものと	なっているか。	_	限定している。	
性	費目・使う	金が事業目的に	即し真に必要なものに限る	されているか。	0		
			の理由は妥当か。(理由を				
事業		に当たって他の 低コストで実施で		る場合、それと比較してより郊	^{伪果的}		
有	活動実績	は見込みに見る	合ったものであるか。		_		
効性	整備され	た施設や成果物	」は十分に活用されている:	か。	_		
1			他部局・他府省等と適切な容を各事業の右に記載)	な役割分担を行っているか。	_		
重複	事業番号		類似事業名	所管府省·部	局名		
排除							
点検結							
果							
				₩ 41 + 200 + •	~ -		
				外部有識者の	· 川兄		
				_			
				行政事業レビュー推進	チームの所見		
		经这. 州林の汗	・サンスカス 特に国際部	・	まの言い事業で	あり、効果的な施策として効率的	に執行できるとう奴める
	-	程序・地域のA べき	近にの中で、特に国際競	・子刀強化の視点から変元は	とい向い手来で	めり、刈米的な心泉として刈牛的	に執行できるより労める
			所員?	と踏まえた改善点/概算要	ずにおける反	· 肿状况	
			771700		(7,1,-00.7 02		
	-				-		
				備考			
				_			
				旧本ナで温ナのこけ 、		· B	
	ম		_	関連する過去のレビューシ 平成23年	/一rの手業を -	F 号 平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 国土交通省 職員旅費、委員等旅費、謝金 740百万円 8百万円 新たなエネルギー輸送ルートに関する海上輸送 体制の確立のために必要な調査等を実施 【公募・委託】 民間企業等 732百万円 新航路等における各種要件の調査及 び安全要件の検討等 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	а					
	計		0	計		0
	н1	В.		н	F.	
	費目	使途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
	ж 1	K &	(百万円)	х п	K &	(百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」に						
おいてブロックごとに最大の金額						
が支出されている者について記載						
する。費目と使途の双方で実情が						
費目・使途 (「資金の流れ」においてでしませる。 が支出されている者について記載する。費目と使途 の双方で実情が分かるように記載)						
	計		0	計		0
		C.	A ##		G.	A +T
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			(ロカロ)			(日万円)
						(日方円)
						(日方円)
			(8)77)			(目方円)
						(目力円)
						(目が円)
						(目が円)
	計		0	計		(目が円)
	ā †	D.			H.	
	計費目		0			0
		D.		al	H.	
		D.	0	al	H.	0
		D.	0	al	H.	0
		D.	0	al	H.	0
		D.	0	al	H.	0
		D.	0	al	H.	0
		D.	0	al	H.	0
		D.	0	al	H.	0

9

A.					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10		_			

 支出先
 業務概要

 1

 2

 3

 4

 5

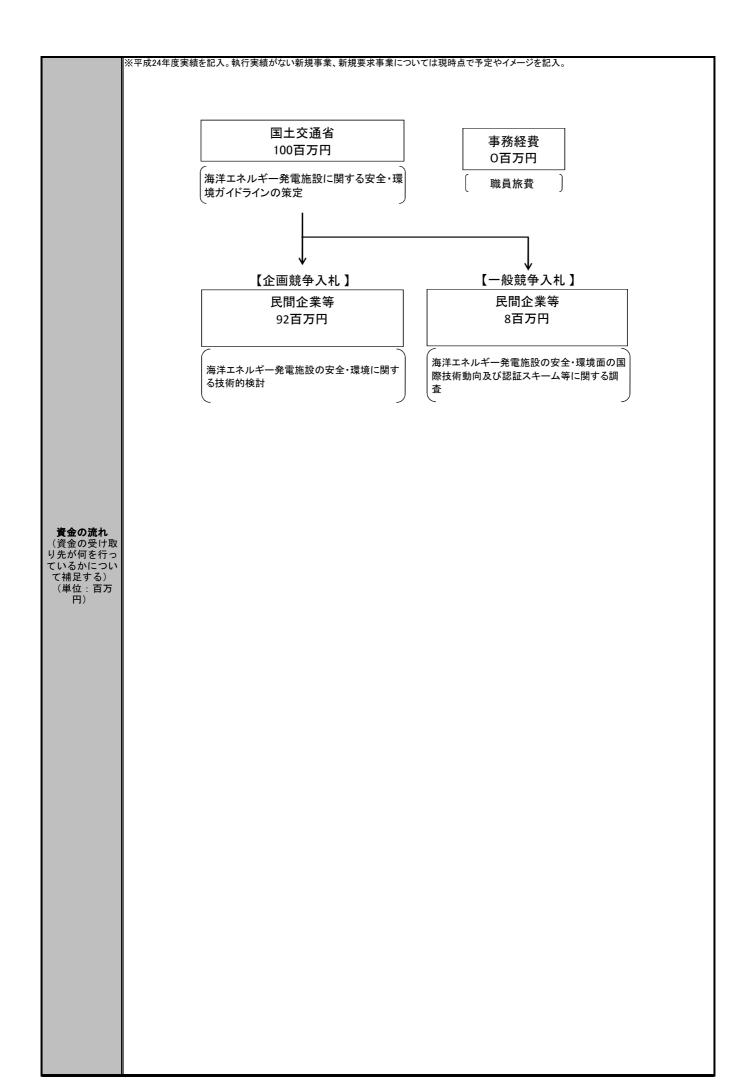
 6

 7

 8

平成25年行政事業レビ						ューシート(国土交通省)						
-	事業名	海洋エネルギーの活用促進のための安全・環境対策			担当部局	庁	海	事局		作成責任者		
	業開始・ (予定)年度	H26/H28			担当課室	Ē	海洋·環境政策課			平原 祐		
£	計区分	一般会計		Į.	政策・施策	名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消 護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び 等を図る					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			-		関	係する計i 通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度じ 内)		対策を図る。	エネルギー(波力、潮	洗等)の豊富なポテ	ンシャル	レを踏まえ、	海洋	エネルギーの活用を化	足進するために浮り	本式等	発電施	設の安全・環境
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		浮体・係留設備等 具体的検討課題 〇係留技術(動揺 〇非常時への対	発電施設を洋上・海中等に係る安全面及び日は次のとおり。 は次のとおり。 場分析、疲労破壊や消 応く浸水、破損時によ 対策(油等流出防止	環境面に関する技術 津波への対応) Sける復原性・浮遊性	的検討を						さするが	とめ、必要となる
美	尾施方法	□直接実施	■委託·請負	□補助	口負	担	口交	5付 □貸付	□その他			
				22年度		23年度		24年度	25年度		26年度要求	
		-	初予算								100	
予	- 算額・	の状	正予算									
	執行額 位:百万円)	況	越し等 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /								100	
		劫行									100	
		執行額 執行率(%)										
		秋1		単位				207 15 217		日標値		
成果	目標及び成	十声类は 海	成果指標			_ #	보1고	22年度	23年度	24年		(年度)
	果実績	・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を 担保しつつ稼働させるため、必要な技術的検討等を実施 の上、安全・環境ガイドラインを策定するものであり、事 業の実施の成果を数値で定量的に示すことは困難であ			実施 成	果実績						
()	ウトカム)				#	重成度 ·	%					
		<u></u>										
25 ML	化模型水体		活動指標 —————			<u> </u>	位	22年度	23年度	24年	度	25年度活動見込
	指標及び活動実績		洋エネルギー発電が させるため、必要な			動実績						_
(3	ウトプット)	の上、安全・環境	境ガイドラインを策算 を数値で定量的に示	定するものであり、	事(当	i初見込 み)					١	()
		未の心動内谷で	と 数値で 企里的にか	くっては凶無での	ত ঃ)()	()
単位当たり コスト		(円/)			算比	出根拠						
₩.	費	費 目 25年度当初予算		26年度要求				主な増減理由				
平成。	技術研究開	究開発委託費 -		92			- 1	「新しい日本のため	の優先課題推進	枠」10	0	
2 5	技術研究開			8								
2	技術研究開	研究開発調査旅費		0	_							
6年					-							
年度予算												
内												
訳		=1			-							

	事業所管部局による点検									
			項 目			評価	評価に関する			
	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。					0	・本事業は、海洋エネルギー発電が しつつ稼働させるため、施設が満た			
必費要投	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					0	としてとりまとめるもの。 ・安全・環境に関する基準等は、国 ためのものであることから、国が一	民の生命・財産を保護する 義的に策定する必要があ		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と なっているか。					-	る。 ・日本再興戦略(H25.6)の戦略市場おいて「波力、潮流等の海洋エネリ条、実証フィールドの登備・実証実を支援」とされている。	易創造プランロードマップに レギーについては、技術開		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					-				
事	受益者との負担関係は妥当であるか。					-				
業の	単位当たりコストの水準は妥当か。									
効率	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									
性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
			の理由は妥当か。(理由を右			-				
-	あるいは低=	ストで実施で	手段・方法等が考えられる場 ぎきているか。	合、それと比較してより交	効果的	-				
有			合ったものであるか。			-				
効性			は十分に活用されているか。			_				
重	(役割分担の		他部局・他府省等と適切な役 容を各事業の右に記載)			-				
複排	事業番号		類似事業名	所管府省•部	3局名					
除							-			
<u>.</u>										
検										
結果										
				外部有識者の	所見					
				-						
			1	テ政事業レビュー推進:	チームの	所見				
								4 +4. 4 -4 -4 -		
		済・地域の店 う努めるべき		エネルキーの拡大の観点	ふから慢気	た度の高	高い事業であり、効果的な施策と	して効率的に執行できる		
	<u> </u>		正 目 太 切	まえた改善点/概算要	おにわら	+ 2 = 0	本 华汩			
	Ī		別元で呼	おんだ以音点/似身女	されにの!	1 O IX	大1人/儿			
	-				-					
備考										
				_						
			For the	b-1-7 10 -1 - 1 - 1 - 1		- 484	-			
	亚井	22年		基する過去のレビューシ 平成23年	ノートの引	下業番·	号 平成24年	_		
	一规	1		1 1220-			1 /2/27-7			



		A.			E.			
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
	а		(1731 17			(17311)		
	-,		_	-,		_		
	計		0	計		0		
		В.	金 額		F	全 頦		
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
費目・使途								
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の全額								
が支出されている								
とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)								
分かるように記載								
単X /	計		0	計		0		
		C.		G.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	計		0	計		0		
		D.			H.			
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
			(日万円)			(日万円)		
	計		0	計		0		

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					·
10					

 支出先
 業務概要

 1

 2

 3

 4

 5

 6

 7

 8

 9

 10